



全佐久だより

令和5年11月9日
全佐久PTA連合会発行
No. 2 (通算第78号)

令和5年度 子育て研修会

全佐久PTA連合会副会長 土屋 幸

9月2日、会場とオンラインによる「一般社団法人森のようちえんぴっぴ」を創設された中澤真弓様の講演が行われました。日常の園児の幼稚園での生活や幼稚園創設までの貴重なお話しをしてくださいました。

PTAの皆様にもアンケートにご協力して頂きありがとうございました。



参加された皆さんの感想 (抜粋)

- 日々の生活する中でも、子供の声に耳を傾ける事が大切だと学びました。ありがとうございました。子どもへの関わり方・声の掛け方など、自分はどうかととても考えさせられた。
- 講義内容として一番印象に残ったのは、発信側ではなく受信側になることです。子供たちにとって、子供の為になる事を一緒に考えて行きたいと思いました。
- 事前の案内や次第にない報告や表彰があり、非常に戸惑った。何なのかよく分からなかった。
- 日々、仕事と育児に追われる中で子供たちに向き合うことの重要性は承知はしておりますが、中々思い通りにいかないのも事実です。今回の講演を受け、改めて向き合い、子供からの発信を受け入れていかないといけないな、と痛感いたしました。
- そういった園舎のない園でどんな事を大切にしているか、どんな想いで子供たちと関わっていらっしゃるのか、聞く機会がないのでとても気づきや学びが多かったです。



アイスブレイクの時間もあり隣近所になった方と少し話をしながら緩むことができたのでよかったです。

回答：会場 18名、オンライン 4名、合計 22名

1、1名 2、2名 3、6名 4、3名 5、10名 (1いまいち→5良かった)

～次年度の研修会への意見・要望を頂きました～

- 子供同士のトラブルが起きた時の対処法、SNSトラブル回避、など。
- 大日向や風越など、私立小中学校などの理念や活動も参考にお聞きする事が出来たら嬉しいと思います。

🌸 令和5年度 三行詩コンクール審査結果発表 🌸

信濃教育会館にて小学生・中学生・一般の皆様から応募した三行詩作品の選考会がおこなわれました。応募総数 4,209 点の中から各郡市 PTA での審査を経ての受賞となりました。

【優秀賞】

浅科中学校 金箱 湊人さん

部活の大会「来るな」と言っても来てしまう小声で応援聞こえていた

～単位 PTA 紹介 千曲小学校～

千曲小学校 PTA 会長 横田 志穂

雄大な浅間山と千曲川を間近にたたえる「千曲小学校」は、東信地域小諸市の千曲川左岸に位置します。令和5年度は一年生8名を迎え全校児童は82名。小諸市内6小学校で最も小さな学校です。小規模校でありながら学区はとても広く6キロ程離れた地区からも子ども達が集います。学年を超えた活動も多く、全校児童が全員の名前を覚えられるほど仲良く、先生と児童の距離感もより近く、学級の雰囲気もとても温かいです。毎日自校で作られる給食は大変美味しく、子どもにとって学校生活の楽しみの一つでもあります。

農業を営む方が多く、りんご・白いも・ワイン用葡萄を栽培する方に農作業体験をさせていただき、子ども達の学びの中に地域の産業が繋がっています。また民俗文化財である小室節や地域財産でもある風穴の歴史を学ばせていただき、地域の皆さんのご協力も厚く、子たちは守られ沢山の方々の関わりの中で豊かな体験をしています。昨年創立80周年を迎えましたが、令和10年度には小諸市3小学校の合併が決まり千曲小学校としての歴史も幕を閉じます。これまで地域に愛されてきたこの学び舎を誇りに、いつまでも子たちの記憶にあり続けることを願っています。



第71回 日本PTA全国研究大会 広島大会に参加しました！

全佐久PTA連合会 副会長 竹内 由貴

8月25日26日の二日間にわたり広島県で行われた「第71回日本PTA全国研究大会」に参加致しました。初日は県内8会場で行われ、学校教育と地域の連携をどう進めていくのかがテーマの第3分科会を選びました。基調講演は広島修道大学の山川肖美教授による「地域とともにある学校ーシビックプライドによる架橋ー」、次に広島県府中市コミュニティスクール連絡協議会長の立石克昭氏による「地域の中に学校を 学校の中に地域を」と題し実践発表がありました。立石氏は府中市明郷学園(小中一貫校)をモデル校としてコミュニティスクール(学校運営協議会)を市内で初めて設置、運営を行っており、その必要性や今後の目標と課題について発表がありました。府中市は全市で小中一貫教育を実施している点や、地域企業が関わりキャリア教育を推進している点でも大変興味深く、今後も注目していきたいです。

二日目は全体会が行われ、開会行事終了後は、「心のトリセツ ～『逃げ癖』を『意欲』に変える脳科学～」を演題にした、人工知能研究者の黒川伊保子氏による記念講演がありました。黒川氏は、人工知能AIの研究について長年取り組んでおり、特に人間の脳についての研究では、「人の脳には2種類しかない」ということ。さまざまな場面での問題解決・対策には2つの型で補っていくことが、スムーズに解決していくための一番よい方法であることを学び、もう一つ「話し方」については「まず相手に共感してから、自分の意見を話す」ことを心掛けると相手の脳が非常に気持ちよくなって会話がスムーズに進む、という普段の生活ですぐに活用できるお話でした。両日も今後の活動に、自身の子育てに参考にしていきたいと思えます。今回は大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



🌸 長野県小中学校 PTA 広報紙コンクール 🌸

第33回長野県小・中学校PTA広報紙コンクールが開催され、県内より43校の応募がありました。

このうち全佐久PTA連合会圏域からは坂の上小学校が優良賞、佐久平浅間小学校が佳作を受賞しました。

【優秀賞 坂の上小学校PTA】

優秀賞を受賞した坂の上小学校の皆さん



坂の上広報紙QRコード⇒

